

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 秋田県鹿角市
本事業の担当部局名 総務部政策企画課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		1.1.2 結婚支援ボランティア等に関する取組						
個別事業名		鹿角市出会い応援事業(結婚サポーター活動支援)				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和3年度
総事業費(A)(円)		154,614		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	154,614
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		154,614						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	154,614	0	0	0	0	154,614	
	対象経費支出予定額	154,614	0	0	0	0	154,614	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 まち全体で男女の出会いの機会を増やし、温かく幸せな家庭づくりを応援する必要がある。若い世代が結婚や子育てに対し、前向きなイメージを描けるよう、経済的負担の軽減やライフプランを構築するための機会・情報の提供が必要。 <本個別事業の位置付け> 専門的知見を有する者による結婚サポーター向けの研修を通じ、サポーター活動を支援することで、活動のスキルアップと活性化が図られる。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	結婚サポーター研修の実施	婚活イベントでは、県の結婚サポーター(13人:令和7年1月時点)も当日の運営に携わってもらい、参加者の様子を観察しながら、必要に応じてアドバイスや支援を行う。また、結婚サポーターを中心に、結婚支援に興味のある方を対象としたセミナーを開催し、サポーターとしてのスキルアップを図るとともに、サポーター登録者数の増加につなげる。当日のセミナーに参加できない人向けに動画視聴による研修とアンケートを必須とし、全員受講とする。 【参加予定人数】婚活サポーター 13人(参加目標割合100%)※R6.3月末時点8人					
	2	他の結婚支援の取組との有機的連携	・イベント前後のスキルアップセミナー・フォローアップセミナーとの連携 ・結婚サポーターによるアドバイスや支援、自主企画イベントの開催 ・あきた結婚支援センターのマッチングシステムへの登録誘導					
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・結婚サポーターを増員し、個人の得意分野を最大限生かした活動を応援するため、資質向上に向けたセミナーを開催。 ・イベント開催でカップリングしても真剣交際にまで発展しないケースが多いことから、結婚サポーターによるフォローアップを行う。							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	男女の出会いの場の創出数(R3-7累計)		件	30 (R7年度)	19 (R5年度)
	市等の関与による成婚者数(R3-7累計)		人	25 (R7年度)	12 (R5年度)
	第2子以降の出生割合		%	55.6 (R7年度)	60.0 (R5年度)
	ファミリー・サポート・センターの提供会員登録者数		人	50 (R7年度)	50 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.38 (H30-R4 (2022))	
	婚姻件数		件	47 (R5)	
	婚姻率			1.71 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	結婚サポータースキルアップセミナー参加割合(動画視聴研修者を含む)	%	100 (R7年度)	75.0 (R5年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	ボランティアの支援を受けた者の満足度	%	100 (R7年度)	100 (R5年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 秋田県鹿角市
本事業の担当部局名 総務部政策企画課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		1.1.3 出合いの機会・場の提供に関する取組						
個別事業名		鹿角市出合い応援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和3年度
総事業費(A)(円)		2,827,231		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	190,000		差引額(A-B)(円)	2,637,231
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,637,231						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	2,827,231	0	0	0	0	2,827,231	
	対象経費支出予定額	2,637,231	0	0	0	0	2,637,231	
	対象外経費支出予定額	190,000	0	0	0	0	190,000	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 まち全体で男女の出合いの機会を増やし、温かく幸せな家庭づくりを応援する必要がある。若い世代が結婚や子育てに対し、前向きなイメージを描けるよう、経済的負担の軽減やライフプランを構築するための機会・情報の提供が必要。 <本個別事業の位置付け> 専門的知見を有する者による結婚意欲を高めるセミナーや出合いの場を提供し、地域外からの参加者を募集することによって、未婚者が交際、結婚に繋がる可能性が高まる。結婚や将来の家族生活を啓発する事業により、結婚に前向きな気持ちになるよう導くとともに、異性に対するコミュニケーション能力の向上が期待される。					
個別事業の	番号	項目	内容					
	1	婚活イベントの開催	婚活イベントは、気軽に参加できるモノづくり、1日かけて人柄を知るバスツアー、スピード感をもって相手を探したいというニーズに対応して、マッチングに特化したイベントを3回開催する。イベント運営全般は委託型とし、進行に応じて個別にアドバイスを行うことで、より多くのカップリングの成立につなげる。イベント開催時には、必ずあきた結婚支援センターへの登録誘導をはじめ、市単費事業等の紹介を必須とし、他の結婚支援事業との有機的な連携を図る。飲食費や体験料等の参加者に還元する費用(補助対象外)については、参加費を徴収し充当する。男性は市内在住者または市内勤務者に限るが、女性は地域と年齢を問わず募集し、市外、県外にもチラシやメール配信等で周知を図る。 【参加予定人数】(男性10人+女性10人)×3回=60人(参加目標割合100%)					
	2	女性向け魅力向上セミナーの開催	女性参加者が少ないという課題から、女性の魅力アップにつながるイベント開催で、自信・スキルを身につけてもらい、その後の婚活イベントへの意欲につなげられるよう女子力向上セミナーを女性限定で開催する。 【参加予定人数】女子力向上セミナー1回 30人(参加目標割合70%)					
	3	イベント前後のセミナー開催	スキルアップセミナー(事前)では、異性とのコミュニケーションスキルの習得や好感度の持てる洋服選びなどで自身を身につけることを目的とし、フォローアップセミナー(事後)ではイベント後の状況を把握し、カップリングした方には交際へのアドバイスを、カップリングに至らなかった方には、その後の婚活に向けた相談対応及びアドバイスを行い、結婚意欲の維持向上を図る。 【参加予定人数】事前(男性10人+女性10人)×3回=60人(参加目標割合100%)、事後(男性10人+女性10人)×3回=60人(参加目標割合70%)					

内 容	4	婚活の継続的支援	イベント参加者には、あきた結婚支援センターのパンフレットを活用し、マッチングシステムとメルマガ配信などの結婚支援の内容と合わせ、本市の入会登録料全額助成(市単費事業)を紹介することにより、あきた結婚支援センターへの登録誘導を進め、婚活を継続的に進められる環境づくりを行う。 イベントでカップリングしても、その後の交際に発展しないケースが多いことへの課題解決として、カップリングした男性と結婚サポーターが連絡先を交換し、個別フォローアップを行う。
	5	他の結婚支援の取組との有機的連携	・イベント前後のスキルアップセミナー・フォローアップセミナーとの連携 ・結婚サポーターによるアドバイスや支援、自主企画イベントの開催 ・あきた結婚支援センターのマッチングシステムへの登録誘導
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・女性参加者が少ないことから女子力向上セミナーを開催して、自信を見つけてもらい、結婚への興味・意欲を高める取組み。 ・カップリングしても真剣交際にまで発展しないケースが多いことから、結婚サポーターによるフォローアップを行う。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	男女の出会いの場の創出数(R3-7累計)		件	30 (R7年度)	19 (R5年度)
	市等の関与による成婚者数(R3-7累計)		人	25 (R7年度)	12 (R5年度)
	第2子以降の出生割合		%	55.6 (R7年度)	60.0 (R5年度)
	ファミリー・サポート・センターの提供会員登録者数		人	50 (R7年度)	50 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.38 (H30-R4 (2022))	
	婚姻件数		件	47 (R5)	
	婚姻率			1.71 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	婚活イベント参加者数	人	60 (R7年度)	54 (R5年度)
	②	秋田結婚支援センターに会員登録している市民数	人	60 (R7年度)	41 (R5年度)
	③	スキルアップセミナーおよびフォローアップセミナー参加者数	人	102 (R7年度)	52人 (R5年度)
	④	女子力向上セミナー参加者数	人	21 (R7年度)	15 (R5年度)
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	婚活イベントのみ④ (R7年度)	69.4 (R5年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	女子力向上のみ④ (R7年度)	86.6 (R6年度)
	④	イベントで引き合わせた成立者数	人	24 (R7年度)	22 (R5年度)
	⑤	スキルアップセミナー支援後、婚活に対し自信がついた参加者の割合	%	70 (R7年度)	44.9 (R5年度)
	⑥	女子力向上セミナー受講後、婚活イベントへの参加意欲が高まった者の割合	%	90 (R7年度)	80 (R6年度)
	⑦	女子力向上セミナー受講者で、後に婚活イベントへの参加割合	%	50 (R7年度)	---
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 秋田県鹿角市
本事業の担当部局名 総務部政策企画課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1.1.3 出合いの機会・場の提供に関する取組					
個別事業名		鹿角市結婚サポート推進事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 平成25年度
総事業費(A)(円)		250,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 250,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		250,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	250,000	0	250,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	250,000	0	250,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 まち全体で男女の出合いの機会を増やし、温かく幸せな家庭づくりを応援する必要がある。若い世代が結婚や子育てに対し、前向きなイメージを描けるよう、経済的負担の軽減やライフプランを構築するための機会・情報の提供が必要。 <本個別事業の位置付け> 出合いの場の創出に大きな役割を果たすあきた結婚支援センターの新規入会および継続にかかる負担金を助成。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	あきた結婚支援センター入会登録料の支援	市内在住のあきた結婚支援センターに入会を希望する者の入会登録料(1万円)について、その費用を市が負担し、あきた結婚支援センターへ交付する。 (@10,000×25人 参考実績R3:14人、R4:22人、R5:19人)				
	2						
	3						
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 婚活イベントでの制度紹介を必須で実施し、丁寧な説明により、イベント参加者のセンターへの新規登録を促す。						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	男女の出会いの場の創出数(R3-7累計)		件	30 (R7年度)	19 (R5年度)
	市等の関与による成婚者数(R3-7累計)		人	25 (R7年度)	12 (R5年度)
	第2子以降の出生割合		%	55.6 (R7年度)	60.0 (R5年度)
	ファミリー・サポート・センターの提供会員登録者数		人	50 (R7年度)	50 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.38 (H30-R4 (2022))	
	婚姻件数		件	47 (R5)	
	婚姻率			1.71 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	あきた結婚支援センターへの登録助成件数	件	25 (R7年度)	19 (R5)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	イベント参加後に、あきた結婚支援センターに新規登録した人数	人	8 (R7年度)	5 (R5年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 秋田県鹿角市
本事業の担当部局名 総務部政策企画課

事業メニュー		結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名		鹿角市結婚新生活支援事業(周知用チラシ作成)				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和3年度
総事業費(A)(円)		98,110		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	98,110
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		98,110						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	88,000	10,110	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	88,000	10,110	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	0	0	0	0	0	98,110	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	98,110	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	----	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 まち全体で男女の出会いの機会を増やし、温かく幸せな家庭づくりを応援する必要がある。若い世代が結婚や子育てに対し、前向きなイメージを描けるよう、経済的負担の軽減やライフプランを構築するための機会・情報の提供が必要。 <本個別事業の位置付け> 結婚新生活支援補助金は、婚姻時の経済的負担を軽減することで、若年時に結婚に踏み出すカップルの増加が見込まれ、円滑な新婚生活の基盤づくりにより、子どもを産み育てやすい環境が整えられ、出生率が高まり少子化対策に大きく貢献することが期待されるため、広く制度周知を図る。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	結婚支援事業の広報	・内容は市結婚新生活支援事業、秋田県の「あきた結婚応援パスポート」 ・配布場所は、本庁:110部、支所:100部(20部×5カ所)、不動産業者:100部(20部×5社)、あきた結婚支援センター会員団体:120部(10部×12団体)、あきた結婚支援センター:30部、ホテル:40部(10部×4カ所)、美容室:90部(10部×9カ所)、市民サービス窓口:10部、市内事業所:250部(5部×50社)、住宅リフォーム会社150部(30部×5社)					
	2							
	3							
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 不動産会社や住宅リフォーム会社等からの事前問い合わせが増えており、対象者が婚姻届を出す以前の、住宅準備段階での制度認知につながっていることから、そちらへの配布部数を増やし、その際に事業者へも丁寧な説明で理解を促す。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	男女の出会いの場の創出数(R3-7累計)		件	30 (R7年度)	19 (R5年度)
	市等の関与による成婚者数(R3-7累計)		人	25 (R7年度)	12 (R5年度)
	第2子以降の出生割合		%	55.6 (R7年度)	60.0 (R5年度)
	ファミリー・サポート・センターの提供会員登録者数		人	50 (R7年度)	50 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.38 (H30-R4 (2022))	
	婚姻件数		件	47 (R5)	
	婚姻率			1.71 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	チラシ配布部数	枚	1000 (R7年度)	1000 (R5)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	90 (R7年度)	60 (R5年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	秋田県鹿角市
本事業の担当部局名	総務部政策企画課

事業メニュー	結婚新生活支援事業				
区分	都道府県主導型市町村連携コース				
関連事業メニュー	4.2 結婚新生活支援事業(都道府県主導型市町村連携コース)				
個別事業名	鹿角市結婚新生活支援事業			新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和3年度
総事業費(A)(円)	3,300,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,300,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,300,000				
費用内訳 (円)	個別事業の内容のとおり				
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 まち全体で男女の出会いの機会を増やし、温かく幸せな家庭づくりを応援する必要がある。若い世代が結婚や子育てに対し、前向きなイメージを描けるよう、経済的負担の軽減やライフプランを構築するための機会・情報の提供が必要。 <本個別事業の位置付け> 婚姻時の経済的負担を軽減することで、若年時に結婚に踏み出すカップルの増加が見込まれ、円滑な新婚生活により、子どもを産み育てやすい環境が整えられ、出生率が高まり少子化対策に大きく貢献することが期待される。				

1. 概要

【対象費用】

☐ 住宅取得費用

☐ 住宅リフォーム費用

☐ 住宅賃借費用

☐ 引越費用

【補助対象要件】原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載

所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満
	自治体独自基準	
年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯
	自治体独自基準	

【補助上限額】原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載

29歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円
	自治体独自基準	
39歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円
	自治体独自基準	

【その他独自要件】

- ・夫婦共に市税の滞納がないこと。
- ・夫婦共に暴力団員でないこと。

個別事業の内容

2. 申請見込

①新規世帯見込	7	世帯	②継続補助世帯見込	2	世帯
上記のうち	ともに29歳以下	2	(継続補助規定の有無)	有	
	その他	5			

【世帯数積算根拠】

市民課、税務課へ照会し、直近の婚姻件数のうち、年齢、所得要件を満たす世帯を算出し積算
・29歳以下2世帯については、令和5年度の夫婦ともに婚姻日における年齢が29歳以下の婚姻件数19件のうち、所得500万円未満の世帯数を税務課において確認し、10%で算出。
・その他5世帯については、令和5年度の夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下(ともに29歳以下を除く)の婚姻件数38件のうち、所得500万円未満の世帯数を税務課において確認し、13%で算出。

(参考)

【令和6年度申請状況】		実施中
申請世帯数見込	9	世帯
～12月(実績)	6	世帯
1月～3月(見込)	3	世帯

【金額積算根拠】

＜上限額＞						＜左記の上限額の合計を使用しない場合の積算＞		
(29歳以下)	2	世帯	×	600,000	円	=	1,200,000	円
(その他)	5	世帯	×	300,000	円	=	1,500,000	円
				(継続補助)			600,000	円
				合計			3,300,000	円

3. 広報の実施予定

- ・結婚新生活支援事業と合わせ、県で実施している「結婚応援パスポート」を幅広く周知するためのチラシを1,000部作成。
- ・チラシは、本市関連施設やあきた結婚支援センター、市内不動産会社、建築リフォーム会社等に配置し、幅広く、かつ、効果的な制度周知を図る。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	男女の出会いの場の創出数(R3-7累計)		件	30 (R7年度)	19 (R5年度)
	市等の関与による成婚者数(R3-7累計)		人	25 (R7年度)	12 (R5年度)
	第2子以降の出生割合		%	55.6 (R7年度)	60.0 (R5年度)
	ファミリー・サポート・センターの提供会員登録者数		人	50 (R7年度)	50 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.38 (H30-R4 (2022))	
	婚姻件数		件	47 (R5)	
	婚姻率			1.71 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	支給世帯実績／支給見込世帯数の割合	%	100 (R7年度)	100 (R5年度)
	(アウトカム)				
	①	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	80 (R7年度)	60 (R5年度)
	②	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	100 (R7年度)	60 (R5年度)